

平成29年度西区実施プラン 期末報告

平成30年（2018年）3月 札幌市西区

西区では、毎年度「西区実施プラン」を策定し、区の使命と区運営の目標・基本方針を定め、それに沿って計画した各重点取組項目について、検証しながら進めてきました。

その結果、平成29年度の実行結果の概要は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

平成30年度以降も、区民の皆様と連携しながら、区民が主役のまちづくりを進めてまいります。

平成30年（2018年）3月31日

西区長 浦屋 謙

I 西区実施プランの全体

◇ 西区の使命

区民だれもが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、区民の自主的な活動を支援しながら、区民が主役のまちづくりを進めていくことが西区の使命です。

◇ 西区の目標・運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく環境・文化芸術・防災の各事業を中心に行うとともに、次の方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。
- ◆ 安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
- ◆ 区民から親しまれ信頼される区役所を目指して、市民感覚を大切に、市民の立場に立って仕事を進めます。

◇ 重点取組項目

- 1 地域と共に進めるまちづくり
- 2 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり
- 3 環境にやさしいまちづくり
- 4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

Ⅱ 重点取組項目

1 地域と共に進めるまちづくり

◇ 地下鉄宮の沢駅周辺のにぎわいを創出

宮の沢駅周辺のさらなる活性化を図るため、「宮の沢まちづくり協議会」において、宮の沢地域の各団体が実施しているイベントや行事のさらなる充実や連携を図るとともに、平成30年2月に「宮の沢まちづくり計画」を策定しました。

◇ 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8カ所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指しました。

八軒まちづくりセンター

地域の力を結集し支え合う - 防犯パトロール・高齢者見守り・防災活動 -

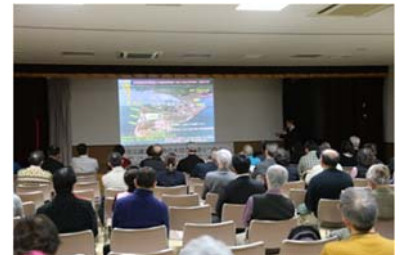
八軒連合町内会を中心に、関係団体や事業者などによる「八軒まちづくり協議会（八軒サポート隊）」を構成し、安全・安心なまちづくり、地域で支え合うまちづくりを進めています。防犯パトロールでは、青パト防犯活動の他に琴似駅前交番とも連携し、農試公園とその周辺のパトロールを強化しました。また、防災活動として地震防災マップの作成や防災講演会の実施等に取り組み、防災意識の向上を図りました。



青パト防犯活動（活動者 75 人）



農試公園巡視（参加者延べ 22 人）



防災講演会（参加者 90 人）

琴似二十四軒まちづくりセンター

「まちづくり協議会」の各事業をバックアップ

(1) 琴似地区まちづくり協議会

屯田の森の歴史的意義を継承し、若い世代の理解を深め、夏のひとときを地域で楽しむことを目的に、「第2回琴似屯田夏まつり」を開催しました。

（8月5日 約600人が来場）



第2回琴似屯田夏まつり

- (2) 二十四軒会館コミュニティサロン等運営協議会
二十四軒小学校児童約 50 人が、地域のみなさんの
協力を得てクリスマスケーキ作りを体験しました。
(12月3日)



クリスマス会の様子

西町まちづくりセンター

「子ども達の夢を応援！！西町・コンサ通りまちづくり事業」

未来を担う子ども達が地域への愛着をより一層深めるような、活気ある住みよい街を目指し、「北海道コンサドーレ札幌の選手・コーチの指導による少年サッカー教室」や「地域の小学校で児童とコンサドーレ選手との交流会」、「地元企業と連携したお菓子作り体験会」などに取り組みました。



少年サッカー教室の様子（参加者 82 人）



お菓子作り体験会の様子（参加者 45 人）

発寒北まちづくりセンター

発寒北地域内一斉環境美化週間「発北キラキラ7 days」

“地域の皆さんと一緒にこのまちをきれいにしたい！”という小中学生の思いから始まった「発北キラキラ7 days」を、9月26日から10月4日まで実施しました。7年目を迎えた今回は、発寒小・発寒東小・琴似工業高校の児童・生徒のほか、町内会など地域の団体等から延べ約 1,800 人が清掃活動に参加し、わがまち発寒をみんなでキラキラにしました。

（西陵中・北翔養護学校の活動日は悪天候のため中止）



発寒東小児童と町内会役員と一緒に活動

西野まちづくりセンター

水車のあるまちエコ City 西野

かつて西野米と呼ばれるお米を生産する広大な水田地帯だった西野地区の歴史を子どもたちに伝えるため「水車で地域交流会」を実施し、小学生125人が参加しました。地域の方から直接、西野の歴史を学ぶほか、瓶や棒を使った昔ながらの精米や縄作り、薪割りした木で火を起し、羽釜を用いた炊飯などの体験活動を行いました。



歴史を学ぶ



精米体験



羽釜で炊飯



全員集合 with やまべエ

山の手まちづくりセンター

ネットワークで発揮する“まちづくり力”支援事業

まちづくりには地域の商工業者の皆さんとの協力が不可欠であるとの考えから、山の手連合町内会と連携しながら山の手商工振興会の発足とスタートアップ事業を支援しました。

山の手商工振興会の発足により、地域でまちづくりを推進する力が増していることから、山の手地域のまちづくりを効果的に支援できるよう、地域活動の連携ネットワークを広げていくよう取り組んでいきます。



山の手商工振興会設立総会
(設立時の加盟数：94事業所)

発寒まちづくりセンター

地球に優しいまちづくりの推進～エコタウンはっさむ

商店街・子ども会・町内会が連携して環境に優しい取組を行う「エコタウンはっさむ」の活動を行いました。

公園の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」や使用済み天ぷら油をリサイクルして石けんを作る「エコ石けん作り教室」などを行いました。



拾い集めた落ち葉

八軒中央まちづくりセンター

まちづくり探検隊 ～災害に備えてわたしたちができること～

地域への愛着を深め、まちづくりの担い手としての意識を育むため、八軒中央連合町内会とまちづくりセンターが連携して琴似中央小学校5年生(64人)と活動する「まちづくり探検隊」。今年度は防災をテーマに、地域の防災の取組の学習や防災施設等の見学を通じて、災害に備えて自分たちができることを考えました。

活動の成果については、子ども達がまとめた「防災パンフレット」の回覧や発表会などを通じて地域へ発信し、地域の防災力の向上につなげました。



活動の成果を地域の皆さんに発信

◇ 市民や企業等との連携

西区の魅力発信や地域の活性化を図るため、発寒商店街が実施する木工クラフトを活用した取組「手造通(てあるとおりの)プロジェクト」において、発寒商店街と札幌市立大学デザイン学部との連携を支援したほか、北ガスフレアスト西と共催し、同社ショールームを活用した余熱利用や時短テクニックなどエコで簡単な調理を学ぶ「らくらくエコキッチン」を実施しました。

また、参加者がスポーツ感覚で楽しみながら拾ったごみの量を競う「第7回スポGOMI大会 in 札幌」(主催: NPO 法人北海道スポーツGOMI 拾い連盟)では、西のコンサ通り商店会とともに共催として携わり、関係者の連絡調整をサポートしたほか、地域の小学校とプレイベントを実施するなど地域の活性化に向けたネットワークづくりを促進しました。

(クラフト作品コンテスト表彰式: 10月7日 25点応募11点表彰、らくらくエコキッチン: 3月16日 16人参加、スポGOMI大会: 9月2日 67チーム365人参加)



クラフト作品コンテスト表彰式



スポGOMI大会集合写真



らくらくエコキッチン

◇ 区内のまちづくり活動の情報発信

活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、広報さっぽろや西区ホームページなどで、各地域で行われるさまざまなまちづくり活動を広く紹介しました。



区役所1階ロビーにある掲示板で、地域のまちづくり活動の様子を紹介

◇ 西区花とみどりの回廊づくり

道路景観の向上を目指し、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）のラベンダーによるシンボルロードづくり、新川コスモス街道づくりなど、道路の植樹ます・植樹帯への花植えによる歩道美化を地域住民との協働で行いました。（34団体へ約17,990株の花苗を配布）



二十四軒手稲通（ラベンダー通り）



花苗植栽による歩道美化

2 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

◇ 地域の防災力強化

特定の地域を対象に自主防災に関する取り組みを積極的に支援する「災害に強いまちづくり事業」を八軒地区で実施するとともに、9月に「札幌市総合防災訓練（※）」を関係団体と協働により開催することにより、地域の防災力を高めました。

また、地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を2月に開催し、防災に関する情報の共有化、西区における防災対策の推進、及び地域住民の安全確保対策を図りました。

<数値目標> 札幌市総合防災訓練の地域住民参加者数 200 人⇒実績 270 人

※ 毎年、区の持ち回りで実施される札幌市の総合防災訓練。平成 29 年度は西区で実施。

◇ 地域主体の子育て活動の充実

子育て情報ステーション「さんかくやまベエのへや」などにおいて、利用者のニーズに添い子育てに関する情報提供や相談などを行いました。

地域が主体の子育てサロンの活動や子育てボランティアの活動を支援するとともに、6月には地域における子育て関係機関・団体と地域子育て情報交換会を開催するなど連携を図り、安心して子育てできる地域の環境づくりを進めるために「西区地区別子育て情報マップ」をつくるなど、地域主体の子育て活動の充実を図りました。



地域子育て情報交換会

<数値目標> 子育て情報ステーション利用者数 4,000 人⇒実績 9,285 人

子育てサロンや託児などのボランティア活動参加者数 1,800 人⇒実績 2,421 人

◇ 地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指して、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体やグループの活動を支援し、健康フェアやウォーキング会など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行いました。また、健康づくり活動が若い世代など、より多くの区民に広がるよう地域の子育てサロンや乳幼児健診の場などを活用した啓発を行いました。



地域主催の健康フェア

<数値目標> 地域と協働した健康づくり事業の参加者数 1,900 人⇒2,226 人

◇ 介護予防体操の普及

介護予防体操「エコロコ！やまベエ誰でも体操」が地域の方々の手で広まるよう普及員養成講座を開催したほか、介護保険関連施設や医療機関の従事者を対象とした専門職向けの普及員養成講座を開催しました。今年度は介護予防センターの協力により地域開催も行い、その結果、普及員数は昨年度 193 人から 87 人増加し 280 人となり

ました。すでに活動している普及員からの周知や、専門職向けにおいてはリハビリ専門職協会や介護予防センターの協力等により、大幅に受講者が増えました。

普及員の皆さんはYOSAKOIソーラン祭り等の大規模なイベントや区内各地域の行事などで体操を披露し、日ごろ実感している介護予防体操の効果を伝え体操を紹介するなど、介護予防だけにとどまらず地域活動につながるよう取り組みを行っています。また、年2回の研修会では、それぞれの活動を発表し交流を深めています。

定期的に体操を行い普及員が活動している団体には「やまべ体操活動ステッカー」を交付しており、今までに19団体に交付しました。体操を実施している場所を広く区民の皆様を知っていただけるよう西区ホームページにも掲載しています。

<数値目標> 普及員数 220人⇒実績 280人



普及員養成講座



YOSAKOIソーラン祭り



やまべ体操活動ステッカー交付

◇ 認知症の方や家族への支援

認知症の方やその家族等、区民の皆様が早期に相談できる体制づくりのひとつとして、西区で初めて認知症情報コーナーを区役所2階に設置しました。

また、認知症の方を介護する男性介護者のニーズに着目し、認知症の理解を深めながら情報交換を行う場である「男性介護者のつどい（ケア友の会）」を2回開催しました。1月の講演会は、男性介護者に限らず多くの区民に認知症への理解が広がるよう、一般区民の方も対象とし開催しました。

<認知症の方を介護する男性介護者つどいの主な内容>

- ◆ 第1回 H29年9月21日「男性のための簡単!!料理教室」と交流会
認知症の方と介護者がコミュニケーションしながら簡単な調理を学ぶ教室
- ◆ 第2回 H30年1月19日「心が穏やかになるタクティールケア」と交流会
スウェーデン生まれの認知症周辺症状を和らげるケア方法を学ぶ講演会

<数値目標> 認知症の方を介護する男性介護者のつどい 年2回⇒実績年2回実施



認知症情報コーナー



第2回 男性介護者のつどいの様子

3 環境にやさしいまちづくり

◇ 西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動を支援

住民による環境活動が定着・継続・発展するまち（通称「エコまち」）を実現するため、区民協議会である「西区環境まちづくり協議会」の活性化を図るとともに、同協議会が実施する活動を支援しました。

(1) 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付しました。

<補助金を活用して実施された主な活動>

◆ 「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」

西区の自然の中で季節に応じたプログラムを行う自然体験教室を、琴似発寒川や五天山公園などで実施しました。（エコキッズ・プログラム 38 回 1,677 人、親子でエコキッズ・プログラム 2 回 24 組 52 人、西区子ども自然学校 2 回 33 人参加）

◆ 「親子で環境満喫バスツアー」

リサイクルや省エネ啓発を目的として、親子で札幌ドームや札幌市内の工場をめぐる、各施設の省エネやリサイクル等の環境に関する取組を学ぶバスツアーを開催しました。（2 回、親子 39 組 78 人参加）

◆ 「西区こども環境広場」

札幌市生涯学習総合センターちえりあにて、さまざまな体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント「西区こども環境広場」を実施しました。1 階ロビーのステージでは、区内児童が日頃より取り組んでいる環境の取組について発表する「子ども環境活動発表会」（西野第二小、西園小、山の手小）やさんかくやまベエが出演するなぞ解きゲーム大会を開催しました。（12 月 3 日、延べ 810 人参加）

(2) 西区環境教育リーダー養成事業

西区の環境活動を担う人材を養成するための講習会を、6・7月に札幌市生涯学習総合センターちえりあ及び平和湖（琴似発寒川上流）で開催し、受講した 20 名を「西区環境教育リーダー」として認定しました。（1 日目：プロジェクト WET（※）講座、2 日目：水生生物観察会、安全管理講習）

受講者は、講習会で得た知識や経験を活かして、エコキッズ・プログラムなど区内の子ども向け環境活動で指導者として活動されました。（2 日間、延べ 47 人参加（フォローアップ参加者含む））

※プロジェクト WET（Water Education for Teachers）：グループワークなどを通じて、水や水資源について知識を深める、体験型の水教育プログラム

◇ 琴似発寒川の環境保全推進事業

区内各連合町内会や企業等との協働による琴似発寒川の一斉清掃（5月13日及び9月2日、合計3,529人参加）とやまめの稚魚放流（5月20日、1,820人参加、稚魚放流数30,000匹）を行いました。

<数値目標> 一斉清掃とやまめの稚魚放流参加人数
5,000人⇒実績5,349人



稚魚放流の様子（かもめ橋会場）

4 文化芸術を活かしたにぎわいあるまちづくり

◇ 西区文化フェスタ

1月28日から3月18日の日程で、クラシックコンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞などさまざまなジャンルの芸術文化イベント17公演を行いました。オープニングイベントは、ちえりあホールを会場に、サッポロシティジャズ実行委員会の協力により、グラミー賞アーティストのデビッドマシューズ氏とサッポロジャズアンビシャスを招き、ビッグバンドジャズを楽しむコンサートを行った他、より身近な場所で芸術に触れる機会を提供するため、2地区センターでもコンサートを行いました。

<数値目標> 来場者アンケートにおける満足度 80%以上⇒実績 99.7%



オープニングイベント「コトニジャズ I Nちえりあ」
(デビッドマシューズ氏とサッポロジャズアンビシャスの演奏)

◇ コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅コンコースが夕方の通勤客でにぎわう時間帯に気軽にジャズを楽しんでもらおうと、花田進太郎氏や古舘賢治氏、板谷大氏、林ひかる氏など、札幌で活躍するミュージシャンが出演するライブを6～9月に4回行いました。

6月の最終金曜日には、ヤマハミュージック琴似センターとの共催により、プレミアムフライデー企画「コトニジャズ mini」を開催しました。



コトニジャズ vol.35(6月実施)

◇ コトニ クラシック

地下鉄琴似駅コンコースを会場に、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんによるクラシックコンサートを行いました。タンゴの名曲や郷愁ただよう日本の唱歌など、夏季に3回実施しました。

冬季には会場を西野地区センターに移し、地下鉄に来る機会のない方も楽しめるよう座って楽しめるコンサートを実施しました。



コトニクラシック vol.18(7月実施)

<数値目標> コトニ ジャズとコトニ クラシックの来場者数 1,500人⇒実績 2,343人

◇ 札幌国際芸術祭2017との連動

子どもたちに楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する「こども・あーと・にしく」。平成29年度は、国際芸術祭2017の開催年であったことから、「国際芸術祭2017」応援事業として行いました。

札幌芸術の森クラフト工房、はちけん地区センターとの共催により実施し、国際芸術祭2017のアイコンのひとつである「ふろしき」にちなんだバンダナの絞り染めワークショップを行い、出来上がったバンダナではちけん地区センターアトリウムを装飾し、インディアンフルートのコンサートを開催。八軒中央地区の子どもたちが制作した提灯も併せて展示され、西区と八軒中央地区の子どもたちの作品とインディアンフルートの音色が会場を鮮やかに彩りました。



「絞り染めでカラフルバンダナをつくろう」
(8月8日実施)



「はちけん地区センターアトリウムコンサート」
(8月10日実施)